材料工学委員会 材料工学将来展開分科会
第24期 第1回 会議議事録

日時： 平成30年6月5日(火) 10:00~12:00

会場： 日本学術会議 6階 6-C (1) 会議室

出席者： 乾晴行、森田一樹、中嶋英雄、大貫惣明、津崎兼彰、古原忠、榎学、須山章子、大出真知子、御手洗容子*、尾崎由紀子*、中野裕美(記録)*スカイプ会議(敬称略)

議事

報告事項

1) 経過報告

乾委員より、材料工学将来展開分科会の設置についての経緯が資料1に基づいて報告された。

2) 委員自己紹介

各委員より自己紹介がなされた。

審議事項

1) 役員選出

乾晴行委員が委員長として選出された。

乾委員長からの指名で、副委員長として大貫惣明委員、幹事として、森田一樹委員、中野裕美委員が任命された。各委員のメールアドレスは、この委員会で管理し、使用することが承認された。

2) 本分科会の役割説明

乾委員長より、本分科会の役割と、今期は材料工学に関する提言もしくは報告書まとめた旨の説明がなされた。

3) 今期活動方針、計画

各委員から活動テーマに関する意見、アイデアを求め、議論を行った。

昨年度提出した、「材料工学から見たものづくり人材育成の課題と展望」の提言書をもとに中・高校教育や、若手、女性教育も視野にいた、材料工学の強みが出る人材教育について、さらに発展させた議論が必要である。材料工学分野は国際競争に負けており、マテリアルサイエンティストの将来性の低い位置づけにも危機感がある。世界レベルで求められる人材、求められる能力についてしっかり議論したい。日本学術会議は実行部隊ではないため、誰に(学会、大学等)実行してもらうかを考えて、提言する必要がある、など多くの意見が出された。

委員の意見を集約し、以下の3点を主なテーマとして、今後議論する方針とした。

1. 大学改革期、入試改革、学科再編にある中で、材料工学のカリキュラムをどのように維持できるか、材料工学教育の将来について議論する。
2. 以前に提出された「大学教育の分野別質保障のための教育課程編成上の参照基準」をさらに大学院教育の参照基準にまで展開し、議論する。
3. 材料工学関連の学会の連携について議論する。

4) 話題提供

大学の組織改編に際し、材料工学分野の教育プログラム確保のための取り組みについて、2つの大学から話題提供がなされた。

- ・平井伸治教授（室蘭工業大学）「室蘭工業大学環境調和材料工学研究センターと材料教育」
- ・松田健二教授(富山大学)「地球科学・土木工学・材料工学分野の融合による新学部設置（富山大学都市デザイン学部）」

5) 次回の日程

今回は材料工学委員会の開催日に合わせ、10月30日 15時～17時を予定しているが、メールにて日程調整を行う。

配布資料

資料1：材料工学委員会分科会の設置について

資料2：委員名簿

資料3：提言「材料工学から見たものづくり人材育成の課題と展望」

資料4：話題提供「室蘭工業大学環境調和材料工学研究センターと材料教育」

資料5：話題提供：地球科学・土木工学・材料工学分野の融合による新学部設置（富山大学都市デザイン学部）